



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

【令和5年度学校教育目標】

大人も子どもも、目指すは“とことん学び続け、とことん学び合う人”
～生涯学びの基礎づくり～

子育て、山あり、谷あり。絶景あり。

～「難しい。」「たいへんだ～。」「うまくいかない。」と思う時こそ、連携しましょう。～

【内容ダイジェスト】

- ◎ 子ども達の成長や実直さ、意欲等に関心、感激することは日常茶飯事です。
- ◎ 子ども達の未熟さ、自分勝手、我がままが出ることも当然あります。子ども達の思いや言い分を確認しながらも、指導をします。
- ◎ 学校も小さな社会ですので、メンバーの思いや考えの違いが出たり、感情のぶつかり合いがあったり、トラブルが起こったりします。
- ◎ 学校の対応について、保護者としての疑問等出てくる場合もあると思います。情報の共有が不可欠です。
- ◎ すべては、学びの機会にして、子ども達の“成長”“伸び”“変容”につなげたいです。

水遊び・水泳の授業が始まりました。何事もそうですが、得意な人もいれば、苦手な人もいます。(写真は、4年生の授業の様子)



得意であろうが、苦手であろうが、自分のめあて(目標)を立て、それを達成する方法を知り、チャレンジするところが大事なわけです。黙々とチャレンジし、「できた！」と笑顔で報告する子ども達に出会うと、疲れは吹っ飛びます。そのような学びの場をどう設定するかが、我々教職員の腕の見せ所です。

一方で、「しと～なか。」と、いろいろな行動・態度で表現している場面に出くわすこともあります。声掛けや説諭で改善する場合は問題ありません。しかし、

なかなか改善が見られず、「ここが、踏ん張りどころ！」と判断した時は、保護者の皆さんとの連携強化です。情報を共有し、それぞれの立場で指導・支援をしていきます。

問題・トラブル発生も日常茶飯事です。まずは、事実確認です。大人の目の届かないところで起こることが多いので、関係する人に事情を聴きます。重なるところもあれば、全く異なることも出てきます。情報を整理し、事実に近いところまで辿りついてから、必要な指導をします。

低学年の子ども達は、記憶自体が曖昧なことも多いです。高学年ともなれば、自分の都合が悪いことをなかなか話しません。誰もが“いつか来た道”ではないでしょうか。時間がかかります。しかし、問題・トラブルは、早く解決する必要があります。

学校と保護者の皆さんとの信頼関係は、重要です。そのために、日常のつみかさねが大事です。ご質問、ご意見等ある時には、遠慮なくお知らせ下さい。校内でも情報共有し、学校全体で取り組んでいきます。

多良小学校環境緑化モデル事業 ～「多良岳 200 年の森」と、嫁川沿いに植樹～

今回、佐賀県、太良町、株式会社ローソンのご支援で、多良小学校環境緑化モデル事業として植樹を行いました。場所は、多良岳 200 年の森と嫁川沿いです。

「多良岳 200 年の森」事業は、太良町の町有林の一部で、樹齢 200 年を超えるスギ・ヒノキの森林を目指して、2015 年から始まった事業です。樹齢 200 年を目指すスギの木には、白いペンキで印がつけられています。約 150 年後に、目指す直径 1 m の大木になるそうです。

本校 6 年生が「多良岳 200 年の森」に入り、サガンスギ等を植樹しました。佐賀県森川海人プロジェクトの一環でもあります。山、川、海を積極的に守ろうとする気持ちと態度・行動が育つきっかけとなると思われます。

※ サガンスギは、半世紀以上かけて品種改良された新品種です。従来品種に比べ、成長速度 1.5 倍、木材強度 1.5 倍、花粉量半分以下という優れものです。

